コロナウイルスとインフルエンザウイルスと、健康・幸福

そろそろシーズンになってきましたね。昨年度のインフルエンザ感染症患者さんは、一昨年度と比べて半分以下、とくにコロナウイルスへの国民的対策を始めてからほぼ皆無になりました。また、今年の南半球（日本が夏の時が冬）でのインフルエンザ流行もかなり少なくなっています。ゆえに、２０１８年、２０１９年のような大きな流行はみられる可能性は低いですが、手洗いとマスクの継続は必要でしょう。そして、小児・高齢者・基礎疾患をお持ちの方はとくにインフルエンザ接種をお勧めします。

オリンピック開催を見据えて、コロナウイルスの流行も抑えたいので、「新しい生活様式」はこのまま続けることが求められるでしょう。これから、海外との交流も戻ってくるので、第三波も想像に難くありません。

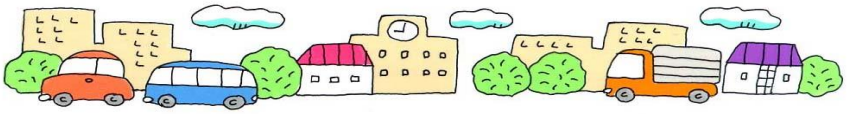
ただ、みなさんはコロナにならないために生きているのでしょうか？「病気にかからない」＝「健康、もしくは幸せ」でしょうか？健康は手段であって、目的ではありません。皆様の生活や人生が財産です。もちろん、自己中心でウイルスをばらまいてもよい権利がみなさんにあると言っているのではありません。しかし、日本特有の「自粛」「同調圧力」に押し潰されて、自分の人生まで抑え込みすぎないでください。多大なしわ寄せを受けている子どもたちは要注意です。地域の感染状況を鑑み、医療生協は、一人一人にとって個別な「ほどよい」活動を提案できると思います。

【医療生協こうせい駅前診療所
所長　佐々木　隆史】

こびらい生協診療所

11月から再度生協ホールを発熱外来として使用

＝ホールの使用ではご不便をおかけします＝



今後の発熱者対応について

こびらい生協診療所では7月から入り口横に発熱外来を作り、発熱者や風邪症状の患者さんの対応をしてきました。

冬場にかけて発熱者の増加が見込まれるため、1箇所の発熱外来のスペースでは対応が困難になると予想しています。そのため組合員さんにはご迷惑をおかけしますが、再度、11月から生協ホールを発熱外来として使用させていただきます。

発熱や風邪症状の患者さんを診療所できちんと診察を受けていただくための対応です。

【注意点としては】

＊新型コロナ感染症対策

こびらい生協診療所では新型コロナウイルスの抗原検査やＰＣＲ検査はできません。診察後、コロナ感染が疑われる場合は保健所や帰国者接触者相談センターへ連絡や近隣の病院へ紹介します。

＊インフルエンザ対策

インフルエンザの迅速検査は感染予防のため、積極的には実施しません。

症状や周囲の感染状況からインフルエンザの感染と医師が診断した場合は、迅速検査を実施しなくてもインフルエンザの薬を処方することは可能です。まず受診して相談ください。

【こびらい生協診療所
副所長　西澤　寛貴】